

# 道仏地区土地区画整理事業

## 国からのまちづくり交付金など 3億4000万円の増額補正

6月定例議会は、5月28日から6月8日までの12日間わたって開かれました。

町長から平成21年度一般会計補正予算や町税条例の一部を改正する条例など17件が提案されました。審議の結果、「町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」については、賛成少数で否決、その他の議案16件は、原案どおり可決、同意、認定しました。

一般質問では、13人の議員が質問に立ち、町政をただしました。

6月定例議会では、平成21年度一般会計補正予算と介護保険特別会計補正予算が提出され、審議しました。

### 一般会計補正

歳入歳出それぞれ3億7407万円を増額し、予算の総額を83億7087万円としました。

補正予算の主な内容は、国からの内示による道仏地区土地区画整理事業に対するまちづくり交付金の増額や、経済対策の一環として行われる雇用創出事業の実施、妊婦健康診査を5回から14回に拡大するものなどです。

特に、道仏地区土地区画整理事業については、今年度の当初予算で2億円計上され、さらに、今回の補正予算で3億4000万円の追加となりました。

これらは、調整池の整備工事とプレロード（軟弱地盤の改良）造成工事などに充てられます。

〈賛成11、反対2で可決〉

### 介護保険特別会計補正

歳入歳出それぞれ79万円を増額し、予算の総額を16億1866万円としました。

歳入は、介護保険料の上昇を抑制するため、国からの交付金を積み立てた介護従事者処遇改善臨時特例基金を取り崩したものです。歳出は、介護従事者処遇改善臨時特例基金の取り崩しに伴う財源更正および制度の周知を図るための経費分です。

〈全員賛成で可決〉

### 「介護従事者処遇改善臨時特例基金」とは？

介護サービスを提供している現場に従事する方々の処遇を改善するため、今年4月から介護報酬が引き上げられました。

このため介護保険の給付費が増加し、介護保険料の上昇につながる可能性がでてきたことから、国から介護保険料の上昇を抑制するための交付金が交付され、これを積み立て平成21年度以降活用するものです。



今年12月の開店に向けて工事が急ピッチで進められている大型店舗の出店予定地（道仏地区土地区画整理地内）

# 雇用創出事業費で活性化図れるか

## ふれ愛センター活性化・遊休農地の復元・古文書や民俗資料の整理など

### 主な質疑

などがはつきり分からな  
いということもあり、当  
初予算に間に合わなかつ  
たが、4月1日施行とい  
うことで助成券を発送。

3人は新規雇用が条件。  
遊休農地再生事業も4  
人、うち3人は新規雇用  
を予定している。

従事者処遇改善臨時特例  
基金を繰り入れするた  
め、介護保険料で負担す  
べき額を減額するもの。

### 一般会計

活性化の内容は  
ふれ愛センターはど  
のような委託内容か。

2年限りの措置か。  
それ以降はどうなるか。

遊休農地再生の目標は  
遊休農地再生事業の  
目標は。

産業建設課長 遊休  
農地を再生する面積は、  
5反(5000平方メートル)  
を目標としている。

健康福祉課長 利用  
者が減っており、より活  
性化するためパソコン教  
室、カラオケ教室、卓球  
教室などの開催。防犯パ  
トロールや防災の見守り  
強化。風呂での見守りな  
ど安心安全で利用できる  
施設をめざす。

雇用人数は何人確保  
経済対策というが、  
雇用は何人くらい予定し  
ているのか。

介護保険特別会計  
制度改正の主な内容は  
1号被保険者の保険  
料の減額ということだ  
が、今年度から据え置き  
のほすだが。

妊婦健診の実施日は  
妊婦健診は、いつか  
ら実施されるのか。

教育推進課長・健康  
福祉課長・産業建設課長  
資料館では9月から半  
年間で4人の予定。ふれ  
愛センターは4人、うち

健康福祉課長 介護



みんなで飾りつけをしました(ふれ愛センター内)

## 町長・副町長・教育長・町議会議員の

# 夏のボーナス0.2か月減額

6月定例議会では、町長や町議会議員、町職員の期末手当の支給割合を0.2  
か月分引き下げる条例の一部を改正する条例案が審議されました。  
審議の結果、町長や町議の期末手当の0.2か月分引き下げについては全会一  
致で可決しましたが、町職員の期末手当の0.2か月分引き下げについては賛成  
6、反対7で否決となりました。

今回の改正内容は、臨  
時の人事院勧告に基づく  
国家公務員の平成21年6  
月期に支給する期末・勤  
勉手当における特例措置  
の実施に準じ、6月期の  
町長、副町長、教育長、  
町議会議員、町職員の期  
末・勤勉手当の支給割合  
を0.2か月分引き下げ  
るため、関係条例を改正  
するものです。

影響額は、  
総務政策課長 職員  
平均では6万9千円、職  
員全体では約1500万  
円の減額。議員全体では  
70万円。町長などの特別  
職は約39万円ですべて合  
わせると約1600万円  
の減額となる。

役職加算の見直しは  
役職加算の見直しは  
検討されているのか。

総務政策課長 町長、  
副町長、総務政策課で対  
応を決めている。

検討するメンバーは  
当町には職員組合が  
ないが、どのように検討  
されているのか。

総務政策課長 今の  
ところ見直しが必要とい  
う状況にないと考えてい  
る。



職員のアドバイスが住民にとって「助かることが…」

### 主な質疑

引き下げによる影響額は  
今回の引き下げによ

影響額は、  
総務政策課長 町長、  
副町長、総務政策課で対  
応を決めている。

### 「人事院勧告」とは？

人事院勧告とは、人事院が国  
家公務員の給与、勤務時間その  
他の労働条件の改善などについ  
て国会および内閣に対して勧告  
することをいいます。  
これは国家公務員の労働基本  
権が制約されていることへの代  
償措置として昭和23年に設けら  
れました。

### 反対意見

● 内需拡大による景気回  
復が求められているとき  
に、内需拡大に逆行する  
公務員の夏のボーナスの  
削減を前倒しで実施した  
こと。

● 職員のモチベーション  
(やる気)を高めることこ  
そ優先するべきである。

### 賛成意見

● 百年に一度と言われる  
大不況の中、民間企業の  
夏季ボーナスは大幅な減  
額となる見込みであるた  
め、公務員も痛みを分か  
ち合うべきである。

### 人権擁護委員に 戸田加代子氏を推薦



戸田 加代子氏  
(百間3丁目)

人権擁護委員の任期満  
了に伴い、引き続き戸田  
加代子氏(65歳)を推薦  
しました。  
任期は平成22年1月1  
日から3年間です。



### 再生可能エネルギー 太陽光発電への補助は 厳しい財政、効率的な普及を検討していく

野口秀雄 議員  
(無会派)

(問) 自然環境を利用した再生可能エネルギーは、地球環境を守る上からも、関心を集める導入の気運が高まっている。国・県・各市町ともに、新たな補助体制のもとで、普及に取り組んでいる。町として

(答) 町民生活課長・総務政策課長 太陽光発電の普及は、地球温暖化対策に有効であると認識している。厳しい財政状況の中、効率的に普及を図る制度を慎重に検討していく。日本工業大学は、環境を重視した新たな学科を創設した。過日、エネルギー対策に活かしていくため、専門的な視点からのアドバイスを依頼した。

(問) 厚労省は、年金、医療、介護などを集約して処理する社会保障カードの導入を目指す。また、既存の住基カードを社会保障カードとしての利用可能性にも触れた検討が進められている。今後、自治体による実証実験の結果を踏まえ、国の動向などに留意し、関係部署と検討していく。

公共施設への太陽光発電導入で、環境にやさしい教育を...



街路灯が「おかえりなさい」



### 全額国庫交付金を使って 雇用の創生を 3本採択を得、さらに申請も

加納好子 議員  
(無会派)

(問) 東武動物公園駅西口は点灯していないものが多く暗い。主な原因は。  
(答) 産業建設課長 主な原因は、球切れと感知センサー異常が考えられる。また、廃業

(問) 省エネ推進事業として県も力を入れていますが、LEDの活用などの研究は。  
(答) 産業建設課長 CO<sub>2</sub>の削減、電気代、ランニングコストの軽減と、LED照明の効果は絶大である。

(問) 県に基金が設置された「ふるさと雇用再生基金」は時限つきながら使いやすい交付金だ。当町の活用は。  
(答) 産業建設課長 現在3本が採択され、2本が申請中である。事業費合計は約2549万円、新規雇用者数14名が望める。さらに活用に向けて研究を進める。

# 町政をただす

一般質問は、13人の議員が登壇し、合併問題をはじめ、街路・防犯灯、交通安全対策、道路整備、環境・教育問題など47項目にわたり、町の考えをたしました。ここに掲載したものは、質問・答弁ともに質問者が507字以内にまとめたものです。



## 一般質問項目一覧 (抽選順)

### 1. 加納 好子 議員

- ① 消えている街路灯対策
- ② ふるさと雇用再生(基金)の活用事業
- ③ 緊急雇用創出事業 いくつかになっても働ける社会の実現事業
- ④ 介護労働者の雇用管理改善への総合的な支援

### 2. 野口 秀雄 議員

- ① 再生可能エネルギー「太陽光発電」への補助
- ② 社会保障カードの導入
- ③ 自主防災組織育成事業
- ④ 街路灯改修にLED照明

### 3. 石井 眞一 議員

- ① 宮代町における危機管理対策
- ② 東小学校南側五差路の交通安全対策
- ③ 中島地区町道第148号線の拡幅、杉戸町までの延伸計画は
- ④ 合併の今後の展開は

### 4. 角野 由紀子 議員

- ① 女性力をいかした町(男女共同参画から10年の町の現状)
- ② 公共施設の地デジ対策
- ③ クールアースデーの取り組み
- ④ 来庁者への対応
- ⑤ 都市計画税

### 5. 飯山 直一 議員

- ① 低炭素都市構築
- ② カーシェアリング
- ③ 公営介護施設(第2弾)
- ④ 人口増対策

### 6. 柴崎 勝巳 議員

- ① 歳入確保策として新たな財源の創造
- ② 県からの移譲事務
- ③ 側溝整備
- ④ 合併問題

### 7. 小河原 正 議員

- ① 合併
- ② 町長選挙
- ③ 中学校の武道必修科
- ④ 3人乗り自転車対策

### 8. 庄司 博光 議員

- ① 新型インフルエンザ対策
- ② ふるさと納税制度
- ③ 全国学力テストの開示
- ④ 合併

### 9. 唐沢 捷一 議員

- ① 町内の緑のネットワークづくり
- ② 春日部市を含む1市2町合併

### 10. 中野 松夫 議員

- ① 高齢者支援
- ② 町内公共施設の耐震化対応
- ③ 都市計画道路整備事業の早期実現に向けて
- ④ 郷土愛を深め活力を高めるために

### 11. 関 弘秀 議員

- ① 校庭や公園などの芝生化
- ② 定額給付金および子ども応援特別金の現状
- ③ 合併

### 12. 加藤 幸雄 議員

- ① 川端公民館の机、椅子の保管倉庫を1階に設置を
- ② 介護保険

### 13. 丸藤 栄一 議員

- ① 東小五差路の安全対策
- ② 溢水対策や被害の軽減
- ③ 1市2町の合併



### 白岡町境道路側溝整備は 両町連携のうえ対策を検討

柴崎勝巳 議員  
(無党派)

西条原交差点から白岡高校に向かう町境道路の側溝整備  
(問) 道路が冠水しやすい状況を町は認識しているか。  
側溝整備は町境ということでは難しいことなのか、整備の予定は。

(答) 産業建設課長 台風や大雨時に道路パトロールにより冠水要因の一つとして、白岡町側の農業用排水路が増水し、はけきれなくなることである。この用排水路の下流にあたる高岩落、その下流の姫宮落川の増水により水がひきにくくなっていることも考えられる。流末のオーバーフローによる冠水なので、側溝整備しても解消は難しい。  
白岡町との申し合わせで、両町連携を図り、対策を検討していくことになっている。



省エネで地球温暖化防止



### 町の防犯灯を省エネ灯に 替える計画は 環境面からも計画的に進めていく

飯山直一 議員  
(新世クラブ)

(問) 国は、エネルギー需要の適切な管理を通じた効率的利用を推進している。また、環境負荷の少ない、低燃費車、省エネ家電製品の普及を促す制度(補助金)も導入する。省エネ、環境問題の一環として

(答) 産業建設課長 台風や大雨時に道路パトロールにより冠水要因の一つとして、白岡町側の農業用排水路が増水し、はけきれなくなることである。この用排水路の下流にあたる高岩落、その下流の姫宮落川の増水により水がひきにくくなっていることも考えられる。流末のオーバーフローによる冠水なので、側溝整備しても解消は難しい。  
白岡町との申し合わせで、両町連携を図り、対策を検討していくことになっている。

### 歳入確保として新たな財源 の創造策

(問) 歳入増加策は。人口増加策として、町内外の若い人達向けへの「魅力ある住みやすい宮代町」のPR活動は。  
(答) 総務政策課長 歳入増加策は道仏地区土地区画整理事業の推進による人口増と税収の確保を行いながら、あらゆる取り組みを行っていききたい。  
町の情報などは、ホームページで発信しているが、若い人達へのPR活動などは、今のところ具体的な形ではない。

(問) 国は、エネルギー需要の適切な管理を通じた効率的利用を推進している。また、環境負荷の少ない、低燃費車、省エネ家電製品の普及を促す制度(補助金)も導入する。省エネ、環境問題の一環として

雨水のあふれる側溝水路



東小学校五差路の交通安全対策は

### 宮代町における 危機管理対策マニュアルは 平成21年上半年期完成予定で進めている

石井眞一 議員  
(町友会)

(問) 宮代町における各種事案に対する危機管理対策マニュアルの作成状況は。  
(答) 町民生活課長 ①地域防災計画実施計画に基づき、災害予防対策や震災応急対策に関する各種マニュアルを開発

各課において作成し、平成21年度上半期中に完成させるスケジュールで作業を進めている。②地震災害や風水害対策に加えこれまで未作成であった「その他災害・事故対策編」の素案を作成し、県と事前協議を実施している。地域防災計画に、サリンなどのテロ犯罪を含む危険物等災害対策、大規模火災対策や鉄道災害対策、道路災害対策、雪害対策などが盛り込まれる予定となっている。③各種事案に対する危機管理対策マニュアルは、現在作成中のマニュアルの完

成後に優先順位を比較検討しながら作成していく必要があると考える。  
東小五差路の交通安全対策は  
(問) 五差路交差点付近にセンターポールが設置され危険な状態だが、撤去の考えは。  
(答) 町民生活課長 杉戸警察署との協議で交通安全確保のため設置した。今のところこの対策を継続して行きたい。五差路については複雑な形状をしているため今後も引き続き、杉戸県土整備事務所や杉戸警察署と協力し安全対策を行っていききたいと考えている。



### クールアースデーの取り組みは 町も参加予定、ライトダウンを呼びかける

角野由紀子 議員  
(公明党)

(問) 地球環境の大切さを国民全体で再認識し、低炭素社会への歩みを実感するとともに、家庭や職場で推進するための日としてのクールアースデー、当町での取り組みは。  
(答) 町民生活課長 昨年の「七

夕ライトダウン」でCO<sub>2</sub>の削減効果は、約3万世帯分の一日の排出量相当の428トン削減ができたとされている。今年も町も参加を予定し、庁舎を始めとする公共施設で職員の定時退社を促し、ライトダウンに協力する。また「広報みやしろ」で住民にライトダウンを呼びかける。  
(問) 期限内合併がなくなり、都市計画税の導入時期が早まるのか。  
(答) 総務政策課長 公共改革プログラムでは、今年度前半に結論を得ることを目標にし

て、町の防犯灯をLED(省エネ灯)に替える計画は。  
(答) 町民生活課長 町内防犯灯は、21年度当初で2,480基あり、LEDに取り替えると、合計で約5,300万円弱かかる。電気料金は、現在約1,181万円が年間で約345万円、率にして約29%の削減見込み。また、二酸化炭素排出量は、約257トンから6分の1の約43トンになると推計。現在、進修館横の駐輪場に1基試験的に設置。21年度は、最大で20基程度設置予定。今後、計画的に



都市計画税は不可欠?

### 人口増対策について

(問) 昨年、国で5万1千人の自然減。減少は前年の2.8倍。宮代町では、昨年出生が190人、死亡が262人、▲72人で「出生希望格差」を小さくする努力が必要。①人口増は。②市街化見直しは。  
(答) 総務政策課長 ①町は「子ども医療費助成対象の拡大」などを進めており「子育てしやすい町」を町外に発信していく。②現時点では、道仏地区土地区画整理、既存の市街化区域内の宅地化を促進。



### 1人暮らしなど高齢者への支援は 地域包括支援センターを核に、共助で

中野松夫 議員  
(新世クラブ)

**(問)** 高齢者支援について  
① 1人暮らしの高齢者は、  
② 支援の取り組みは、  
③ 町独自の施策は、  
**(答)** 健康福祉課長 高齢者人口比は平成23年度には25%、26年度には30%になると見込



住民参加で町内の緑と環境を守る

### 町内の緑のネットワークづくりは 宮代の歴史、風土を生かし緑化に努めた

唐沢捷一 議員  
(町友会)

**(問)** 宮代町は、豊かな緑と自然があり、地域に潤いと安らぎの場が残されている。  
この自然環境を守り、保全育成にどのように取り組んできたか。  
**(答)** 産業建設課長・町民生活



まれ、1人暮らしも急増すると思われる。  
地域の人々が助け合う共助の仕組みづくりが重要であり、地域包括支援センターが核となり支援していきたい。  
問題が生じた場合は、速やかな対応が第一。民生委員や家族、近隣の方からの情報により地域包括支援センターを活かし、見守り支援ネットワーク、緊急時通報システムなど必要なサービスの導入を図りながら、対応していきたい。  
**(問)** 都市計画道路整備事業について

**課長・総務政策課長** 町内街区公園39か所は全て整備された。  
緑のネットワークについては、身近な公園の整備や宮代の歴史、風土を生かして公共施設や道路の緑化に努めた。  
町内市街地の空き地対策は条例に基づき土地所有者への指導を強化していきたい。  
旧分教場跡地は貴重な空間であり、公園として整備していきたい。  
**(問)** 春日部市を含む1市2町合併について  
**(答)** 合併問題は、町民生活に  
① 事業は平成元年に17路線が計画決定され、現在、完了が1・6km、計画の7・3%ということだが、整備の評価は、また今後の事業推進は。  
② 20年経過し計画見直しは。  
**(答)** 産業建設課長 ① 全体的な整備率は約48%であり、他市町に比べ低い。  
平成19年度に整備の優先順位を整理した。宮代通り線、春日部久喜線を重点に実施する必要があると考えている。  
② 22年以降予定の全体的見直し作業時に、宮代町でも必要な作業を実施したい。

きょうも元気に健康体操



第4代 町長の椅子は？

### 榊原町長は5選目を目指すのか 5期目を狙うことは考えていない

小河原 正 議員  
(無党派)



**(問)** 榊原町長は、合併の進展にかかわらず、任期満了後も5選目の町政を目指すのか。  
**(答)** 町長 今、残る任期も4カ月余りとなった。首長の職は公のものであって、決して私するものではない。私は、

### 新型インフル時の業務継続計画は

### 未策定だが、国の方針に沿う対策をする

庄司博光 議員  
(新世クラブ)



**(問)** 新型インフルエンザが、国内において流行することが予想される。町の事業継続計画はどのように決めているか。  
**(答)** 健康福祉課長 新型インフルエンザが、パンデミック状態になった場合、町の職員

自身その家族が感染して出勤できず、人員確保ができない可能性がある。国においての新型インフルエンザ対策行動計画などにおいては、「従業員の40%程度が、欠勤することが予想される」とある。  
よって業務継続計画は、新型インフルエンザ対策の実効性を担保するため、感染防止策と重要業務の継続を検討するにあたり、重要と認識している。  
しかし、中核的役割を果たす保健所においても、今年3月にはじめて新型インフルエ

ンザ発生時業務継続計画策定ガイドラインが示された状況であり、町において事業継続計画は策定されていない。  
町では、昨年4月から施行している新型インフルエンザ対策検討委員会設置規程に基づき、延べ3回検討委員会を開催した。  
5月18日には、国内ではじめての患者発生を受け、宮代町新型インフルエンザ対策本部として組織強化を図り、同月22日には、第2回の対策本部会議を開催し、国の方針に沿う対策を講じた。

宮代町役場



3期12年を一つの区切りと考えていた。  
しかし、平成16年の合併破綻を受け、ここで逃げられないという思いで、4選出馬をした経緯もあった。今、置かれている諸情勢を勘案すると、今後、よほどのことがない限り、5期目を狙うということは考えていない。  
**中学校の武道必修科について**  
**(問)** 新学習指導要領では、平成24年度から中学校生徒は必修科目として、柔道・相撲・剣道のいずれかを選択するようだが、各学校の設備と備品

指導者確保などの準備は。  
**(答)** 教育長 1・2学年は、柔道・剣道または相撲のうちから一種目を選択して全ての生徒に履行させること。3学年では、球技および武道の中から一領域以上を選択して履修するが、現在、前原中学校が柔道を必修として授業を行っているので、他の2校も柔道を計画している。  
武道場の確保のため畳や柔道着などの準備も進めている。指導者は、中学校の体育担当教師は全員が指導資格を得ているので、特に問題はない。

## 再度の合併問題白紙に

平成21年5月17日杉戸町で行われた1市2町（春日部市・杉戸町・宮代町）の合併問題についての住民投票の結果は、合併反対が賛成を大きく上回り、その結果、5月20日杉戸町から合併研究会を脱会したい旨の申し入れが宮代町にありました。

こうしたことから、宮代町では5月21日議会全員協議会が開催され、平成22年3月31日を期限とする1市2町による合併は、実質的には難しいとのことであり、その後、春日部市も同様の見解であることから、合併研究会を解散するに至りました。

これにより、事実上1市2町の合併は白紙となりました。

※合併研究会：法定協議会の資料とするために合併方式、新市基本計画などを検討する3市町の職員のみによる研究会

## 宮代町長選挙 日程決まる

宮代町選挙管理委員会から、任期満了に伴う宮代町長選挙の日程などについて発表がありました。

- 投票日 平成21年10月4日(日)
- 開票 平成21年10月4日(日)  
午後8時50分から  
(場所) 進修館大ホール
- ◎告示日 平成21年9月29日(火)
- ◎立候補予定者説明会  
平成21年8月26日(水)  
午前9時から正午  
(場所) 宮代町役場202会議室
- ◎事前審査会  
平成21年9月24日(木)  
午前10時から正午  
(場所) 宮代町役場102会議室



早急に「信号機」と「一時停止の標識」の設置を



丸藤 栄一 議員  
(日本共産党)

### 東小学校の五差路に 信号機の設置を 複雑な形状のため信号機制御ができない

〔問〕 東小学校の五差路については、この間、いろいろな安全対策を講じていたと思いますが、現状のままでは依然として危険な状況である。特に、高齢者や子どもにとっては、やっとの思いで交差

〔答〕 町民生涯課長 信号機の設置は警察が行うことになっている。杉戸県土整備事務所において五差路の工事を行う際、信号機の設置について警察と協議を行ったところ、「五差路は複雑な形状をしているため信号機制御ができない」との回答があったとのこと。

また、町としても06年度から毎年、信号機の設置を要望しているが、設置されないまま現在に至っている。設置まで一時停止の標識を



加藤 幸雄 議員  
(日本共産党)

### 介護保険見直しで何が必要か 持続可能な制度に課題は多い

〔問〕 介護保険は10年目を迎えた。しかし、基盤整備は遅れていて、保険料は取りたてるが、サービスは満足に給付されず、家族介護の負担は重くなっている。

〔答〕 健康福祉課長 ①適正化計画の運用について、認定調査を民間に委託したときは町職員でチェックしている。居室サービスプランでは、町内事業所のケアマネージャーと

②今回の見直しで、介護度の再認定で従来より軽い判定が出た場合は、従来のサービスを継続できるとの暫定措置が示された。町はどう受けとめるか。③3年後にはさらなる見直しが行われる。どのような課題があるか。

〔問〕 信号機が設置できるまでは、一時停止の標識が必要と思うが。

必要になったとき、安心して受けられる介護保険に



校庭の芝生化で環境・教育の推進を



関 弘秀 議員  
(公明党)

### 校庭や公園の芝生化推進を 現時点では困難だが今後検討

〔問〕 近年、校庭を芝生で整備する学校が増えてきている。芝生化の効果として、芝生の弾力性により、思い切り体を動かせる、スポーツ・外遊びの活性化、地域とのスポーツ

〔答〕 教員長 校庭の芝生化については、平成10年2月文部科学省においても「エコスクールの整備とともに野外教育環境整備事業による野外運動場の緑化を進め、これらの施設を生きた環境教育の教材と

して活用していく」と、環境への配慮に対応した施設作りが求められ、芝生化を推進している。校庭の芝生化は多くのメリットがあることを十分承知している。しかし、日常的に校庭は激しい運動、遊びや活動をする場であり、芝生化にあたっては土壌作り、排水設備、自動散水などの整備が必要となり、施工中の使用中断の問題、こまめな芝生の管理の必要性など、これらのことを勘案すると、現時点では困難であるが、今後検討していきたい。



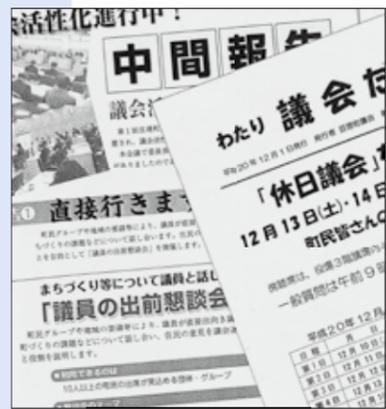
# 主なご意見

(同じようなご意見はまとめさせていただきました)

- 会場の設営について**
  - マイクの音が悪く、質問に対する答弁、発言内容がよく聞き取れない。
- 資料について**
  - 資料が少なく、報告の内容がのみ込めなかった。詳細な資料も配布願いたい。
- 進行について**
  - 今回の議会報告会は初めてのことだが、進行の仕方が下手。質疑応答も要領よく進行してもらいたい。
- 説明の仕方について**
  - 数字などの読み上げでは分かりにくい。もっと目で見ても分かる説明の仕方、具体的に端的な話し方を望む。
- 今回の試みは大変結構だが、予算の背景、問題点も含め説明に工夫を。

- 報告会の内容について**
  - 「議会だより」そのままでの結果報告では説明になっていない。公表されている事項の読み上げでは「読書会」に過ぎない。
  - 開かれた議会をこのとで期待してきたが3月議会の報告だけであった。町民との質疑応答についてもフリートークング的会話が必要。
  - 報告会は議会終了後すぐ開催すべき。
  - 議会と住民との対話を期待したが、議会側の一方的な進め方、内容であり、失望した。
  - 特定のテーマで「住民との対話」が是非とも必要。
  - 住民参加を進める道を探して欲しい。議会へは期待したい。期待したいのだからそれに十分応えて欲しい。のんびりと4年間を無駄に過ごす議会はいらぬ。開かれた身近な議会に

- 議会に対する意見・要望**
  - 町民の意識を十分把握して前向きな議論を。
  - 議会基本条例を制定し、議会改革の推進を。
  - 地方自治の大切さを、将来を担う子ども達に伝えるために、議員が子ども達と接する機会を増やして貰いたい。
  - 議会は将来に向かって活力のあるまちづくりの真剣に取り組んで欲しい。
  - 将来に向けて議員定数の削減を。
  - 公約に基づいて活動しているか疑問。町の将来のための議員による議案提出を。
  - 宮代町議会でも議員報酬の日当制への考えは。



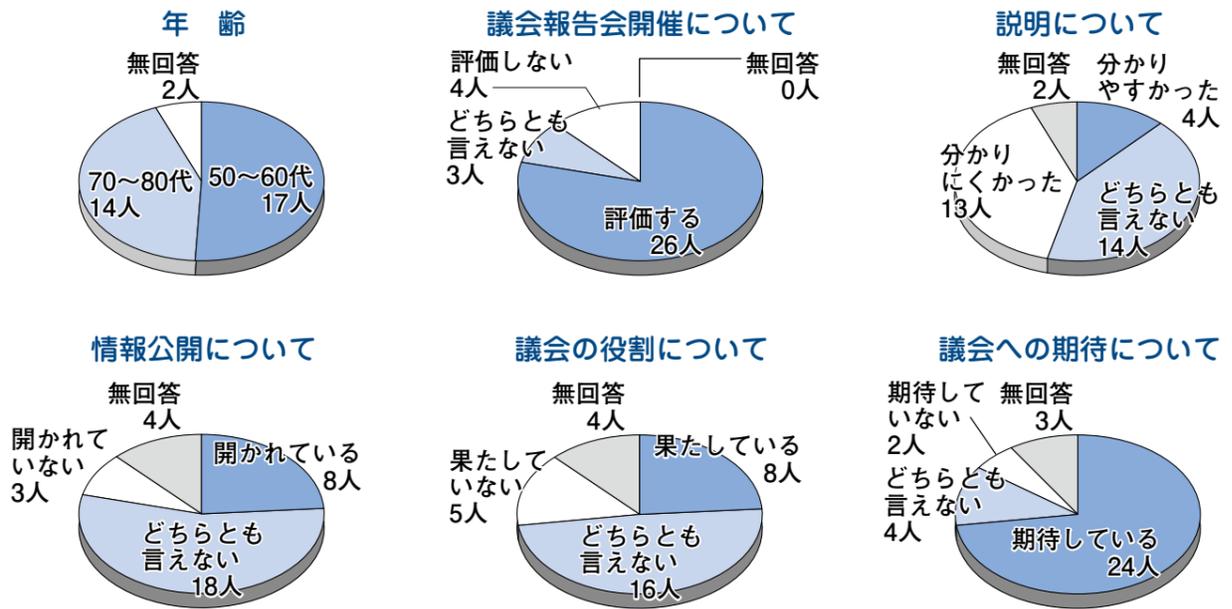
# ご協力ありがとうございました

## 「議会報告会」を実施

5月17日、3月定例議会を主な内容とした「議会報告会」を開催しました。町内外から34名の方々にご参加をいただきました。皆様からいただいたご質問、ご意見およびアンケートの結果を以下に掲載します。たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。

### アンケートいただいた主な項目

アンケート回答者数 33名



- 高齢者、若者などが希望の持てる政策は。財政は。議長職は4年任期だが、なぜ4年を全うしない中途交代するのか。
- 14名なら全て本会議での運営ができる。なぜ委員会制度を続けているのか。
- 「議会だより」に掲載される各会派の態度欄の掲載理由は。町議会に会派はいらない。
- 政務調査費は議員活動に必要。現行の議員報酬総額の枠の中で復活する考えは。
- 動物公園駅にエレベーターの設置は。
- なぜ、議員個人に質問できないのか。
- 対等合併と吸収合併の違いは。
- 法定合併協議会を早く発足させるべきである。合併へのタイムスケジュールの考えは。
- 杉戸町住民投票の結果、反対多数の場合、宮代町の合併の考え方は。
- 合併後の宮代町議員の定数は。衛生組合、消防組合はなぜ久喜なのか。
- 合併研究会での西口新計画案の内容は。
- 春日部と合併した場合、宮代町民のメリットは。何が期待できるか。
- 合併に反対する議員に、町財政の健全化、活性化についての具体的見解は。
- 合併の最終判断は住民投票とすべきである。請願はなぜ否定されたのか。
- 杉戸町の住民投票結果に関わらず1市1町でも合併を進める意思があるか。
- 議会は合併方式をどのように考えているか。議会の基本的考えは。
- 合併推進、慎重それぞれの立場で見解を。
- ・ 少子高齢化対策は。
- ・ 駅周辺整備、道路網整備は。
- ・ 将来の財政安定化策は。
- ・ カスマストア出店に伴い、町内商業者への対策は。

## 主なご質問

## 研修レポート

### 議会運営委員会

### 出前懇談会・休日議会を実施

6月24日、議会の活性化に積極的に取り組んできている宮城県巨理町を訪問しました。巨理町議会では住民との懇談会などを実施しています。出前懇談会は常任委員会毎にその関連のテーマで実施。また地域や全町的特定のテーマで議員懇談会も行っています。休日議会は議会への関心を持つてもらおうと、年に1回、一般質問を日程に開催しています。宮代町議会でも先の議会報告会の実施を踏まえ、これら活性化を目指し取り組んでいきたいと思えます。